

今後の取組について

地方誘客に向けた取組

航空燃料供給不足に対する行動計画（概要）

趣旨・経緯

- インバウンド需要が急回復する中、外国エアラインの新規就航等において、航空燃料の供給ができない事態が全国で発生（週140便）。
- 本件が地方をはじめ我が国の観光振興の足枷とならないよう、6月に「航空燃料供給不足への対応に向けた官民タスクフォース」を設置、集中的に対応策を検討。本会議終了後、本タスクフォースの行動計画を公表。

航空燃料供給不足への対応に向けた官民タスクフォース

1. 構成員

定期航空協会／全日本空輸(株)／日本航空(株)／IATA（日本事務所）／BOAR／成田国際空港(株)／関西エアポート(株)／中部国際空港(株)／北海道エアポート(株)／福岡国際空港(株)／石油連盟／ENEOS(株)／出光興産(株)／コスモ石油(株)／コスモ石油マーケティング(株)／（一社）全国空港給油事業協会／日本内航海運組合総連合会
事務局：国土交通省（航空局、海事局、観光庁）／経済産業省資源エネルギー庁

2. 開催実績

第1回 R6.6.18（事務局より現状説明）／第2回 R6.6.26（各関係事業者等からヒアリング）／第3回 R6.7.16（行動計画審議）

航空燃料供給不足に対する行動計画（概要）

以下の短期的な取組により、当面アジア便で週150便超相当の燃料を確保、各空港に供給さらなる増便を見据え、タンク転用など中長期的な取り組みに着手

1. 短期の取組【R6.7～】

- 需要量の把握
 - 新規就航・増便など、各空港における需要量が把握可能な仕組みの構築 <空港会社等、石油元売会社等>
 - 航空燃料の供給不足について調整が難航した場合の相談窓口の設置 <国交省、エネ庁>
- 供給力の確保
 - 空港への直接輸入の実施 <空港会社等、石油元売会社等>
- 輸送体制の強化
 - 製油所から空港へのローリー直送の増加 <石油元売会社>
 - 内航船への転用等による輸送力強化 <石油元売会社、内航海運業者>
 - 給油作業員の確保に向けた取組 <給油事業者、国交省>

2. 中長期の取組【R7年度以降を見据えた取組】

- 製油所・油槽所などの既存タンクのジェット燃料タンク転用など供給力の確保
 - 空港のジェット燃料タンクの必要な容量の確保等の実施
 - ローリーの台数の確保、船舶の大型化、老朽化した荷役設備の更新等
- など、供給力の確保や輸送体制の強化に係る取組を進める。

3. 今後の対応

- 本行動計画の各施策に基づき、各空港ごとに、新規就航・増便に係る改善状況についてフォローアップ（年4回程度）
- 更なる改善の取組について、継続的に検討

航空燃料供給不足に対する行動計画

令和6年7月

航空燃料供給不足への対応に向けた官民タスクフォース



航空燃料供給不足に対する本行動計画の位置づけ

- インバウンド需要が急回復するなか、外国エアラインの新規就航等において、航空燃料の供給ができない事態が全国各地で生じている（週140便）。
- この問題がインバウンドの足枷となり、我が国経済の発展を阻害することのないよう、「航空燃料供給不足への対応に向けた官民タスクフォース」を設置し、官民の関係者が一丸となって、今後の対応策について検討を進めてきたところである。
- 今般、今後の対応策について、短期及び中長期の視点ごとに、国、関係業界及び関係事業者の行動計画としてまとめたところであり、今後、本行動計画に基づき、航空燃料の供給不足の状態を解消するよう、対策を進めていく（今回の取組により、当面アジア便で週150便超相当の燃料の供給力を確保）。

構成員

定期航空協会／全日本空輸(株)／日本航空(株)／IATA（日本事務所）／BOAR／成田国際空港(株)／関西エアポート(株)／中部国際空港(株)／北海道エアポート(株)／福岡国際空港(株)／石油連盟／ENEOS(株)／出光興産(株)／コスモ石油(株)／コスモ石油マーケティング(株)／（一社）全国空港給油事業協会／日本内航海運組合総連合会
国土交通省（航空局、海事局、観光庁）／ 経済産業省資源エネルギー庁

開催実績

- | | |
|--------------|----------------------------------|
| 令和6年6月18日（火） | 第1回官民タスクフォース開催（事務局から現状について説明） |
| 同 6月26日（水） | 第2回官民タスクフォース開催（各関係事業者・団体からヒアリング） |
| 同 7月16日（火） | 第3回官民タスクフォース開催（行動計画について審議） |

1. 短期の取組【R6.7～】

■ 需要量の把握

- ・ 新規就航・増便など、各空港における需要量が把握可能な仕組みの構築
 - 石油元売会社等の年間の燃料供給計画の策定に資するよう、空港会社等において、就航・増便等の確度の高い情報を収集・整理し、時間的余裕を持って石油元売会社等に提供。元売会社は、提供された情報を基に、航空会社からのオファーに備えてサプライチェーンの状況を確認し、対応を図る。〈空港会社等、石油元売会社等〉【R6.7月末までに提供】
 - 国際線誘致を検討している地方自治体や空港会社等が、航空燃料の供給不足について調整が難航した場合などの一元的な相談窓口を設置。〈国交省、エネ庁〉【R6.7月末まで】

■ 供給力の確保

- ・ 空港への直接輸入の実施 〈空港会社等、石油元売会社等〉
 - 商社や石油元売会社が空港会社等と連携して航空燃料を輸入し、空港の給油タンクに直接搬入する。7月に成田空港向けに第1船入港によりアジア便300便相当の供給力確保。【R6.7月～】
- ・ 製油所におけるエネルギー供給構造高度化法の特例的な運用に基づく生産能力の変更 〈エネ庁〉
 - 人手不足等により長期化している製油所の定期修繕時に、他製油所で必要分を増産（生産能力の特例的な変更）することで、アジア便140便/週相当のジェット燃料の生産を実現。【R6.7月～9月まで】

■ 輸送体制の強化

- ・ 製油所から空港へのローリー直送の増加 〈石油元売会社〉
 - 予備車、乗務員について、運送会社との極めて精力的な調整により、月15,000kl相当（アジア便150便/週相当）の地方空港向けのローリーの配送力を確保。【R6.7月～】
- ・ 内航船への転用等による輸送力強化 〈石油元売会社、内航海運業者〉
 - 既存の船舶を活用した積荷・運送計画等の変更や、外航船の日本籍内航船への転用などにより、輸送力を強化。具体的には、年内に外航船内転2隻、新造就航1隻による輸送量強化。【R6.7月～】
- ・ 給油作業員の確保に向けた取組 〈給油事業者、国交省〉
 - 給油事業者において、人材の確保・育成の取組を強化。国も、空港ごとの合同説明会の開催、教育訓練等の取組、空港業務人材の処遇改善に要する経費等の一部を補助。【R6.7月～】

2. 中長期の取組【R7年度以降を見据えた取組】

■ 供給力の確保

- ・ 製油所・油槽所の既存タンクのジェット燃料タンク転用など供給力の確保 <石油元売会社、エネ庁>
 - 石油元売会社は、将来のジェット燃料需要増及びそれに対応したジェット燃料の生産増・輸入増を見据え、既存タンクのジェット燃料タンクへの転用など計画的な設備投資の必要性を検討。そのうえで必要な対応策を実施する。
- ・ 空港のジェット燃料タンクの必要な容量の確保等の実施 <給油施設事業者、国交省>
 - 将来的に、空港のジェット燃料タンクがロジスティクス上のネックとならないよう、空港のジェット燃料タンクの容量拡大等の改善の必要性を検討。そのうえで必要な対応策を実施する。

■ 輸送体制の強化

- ・ ロリーの台数の確保 <石油元売会社、エネ庁>
 - ジェット燃料専用のローリーを追加的に確保する必要性について検討を行い、そのうえで必要な対応策を実施する。
- ・ 船舶の大型化、老朽化した荷役設備の更新等 <石油元売会社、内航海運業者、エネ庁、国交省>
 - 石油元売会社及び内航海運業者間での運賃や契約期間といった取引環境の改善に関する不断の対話を行うとともに、中長期的な生産・輸送の見通しを踏まえた、余裕を持った船腹量の計画的確保を行う。
 - 老朽化した荷役設備の更新・機能向上を通じた荷役の効率化を実現。
- ・ サプライチェーンに携わる人員（ローリー乗務員/船員/給油員）の確保
<航空会社、石油元売会社、給油事業者、内航海運業者、エネ庁、国交省>
 - サプライチェーンに関わる人材の確保にあたってはその処遇改善が重要であるとの認識を、航空会社、石油元売会社、内航海運業者、給油事業者及び関係省庁の間で共有し、コスト負担を含めた不断の対話を行う。
 - 船員の確保・労務負担軽減策の検討を通じた荷役の効率化を実現。

3. 今後の対応

- 今後、本タスクフォースにおいて、以下について継続的にモニタリングを行いながら取り組んでいくこととする。
 - 本行動計画の各施策に基づき、各空港ごとに、新規就航・増便に係る状況が改善しているかどうか、フォローアップしていく。（当面は年4回程度）
 - 更なる改善の取組について、継続的に検討していく。

空港グランドハンドリングの現状について

- 航空機の運航に不可欠な空港グランドハンドリングは、コロナ禍等の影響により、一時は人員が約1~2割減少していたが、人材確保・育成や処遇改善を図ることで、ランプ業務の職員数はコロナ禍前の水準まで回復。
- 今後のインバウンド推進のボトルネックとならないよう、空港グランドハンドリングのDX化を進める。

グランドハンドリング業務の例



グランドハンドリングの体制 (主要各社の従業員数)

(給油・ケータリング会社は含まない)



グランドハンドリング職員の給与水準

(主要各社からの聞き取り)

【平均年収】 約357万円 (令和5年4月時点) → 約434万円 (令和6年4月時点) **約20%上昇**

2030年訪日外国人旅行者数6,000万人を達成するためには、各空港におけるグランドハンドリングの体制強化が必要不可欠

引き続き人材確保・育成の取組を推進するとともに、空港グランドハンドリングのDX化を進める

国際拠点空港等の機能強化・地方空港への就航促進

2030年訪日外国人旅行者数6,000万人の政府目標達成に向けて、**国際拠点空港(首都圏空港等)の機能強化**を図るとともに、訪日外国人の地方誘客のため**地方空港への就航を促進し、そのための支障要因の解消を図る。**

首都圏空港（羽田空港、成田空港）

- 羽田空港：2020年3月より新飛行経路の運用を開始し、**年間発着容量を約45万回から約49万回に拡大。**
- 成田空港：**C滑走路の新設等（2028年度末目途）**により機能強化を図り、**年間発着容量50万回化を実現（発着枠は現在30万回）。**

➡ 2020年代後半に首都圏空港全体で**年間約100万回**の発着容量を達成



成田空港における
B滑走路延伸、
C滑走路新設

関西3空港（関西国際空港、伊丹空港、神戸空港）

- **関西3空港の飛行経路の見直し**により発着容量を拡大。
- 新飛行経路については、本年7月15日の関西3空港懇談会にて合意。2025年大阪・関西万博開催に向けて運用開始予定。

<関西3空港全体>

- ・ **年間50万回の容量確保（現在40万回）**

<関西空港>

- ・ **年間発着回数30万回（現在23万回）**
- ・ **1時間当たりの処理能力：45回→60回**

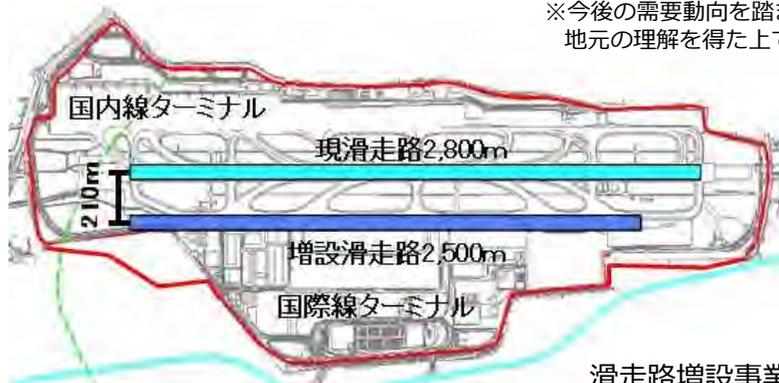
<神戸空港>

- ・ 国内線 **1日の最大発着回数：80回→120回**
- ・ 国際線 **チャーター便解禁**
定期便40回/日（2030年目途）

福岡空港

- 滑走路の増設等（2024年度末完成予定）により、滑走路処理能力を**年間17.6万回から18.8万回～21.1万回※まで拡大。**

※今後の需要動向を踏まえ、
地元の理解を得た上で増枠を検討。



滑走路増設事業

地方空港への就航の促進

- **航空燃料供給不足**に対し、当面アジア便で週150便超相当の燃料を確保するとともに、さらなる増便を見据え、**供給力の確保や輸送体制の強化に係る取組を進める。**
- **空港グランドハンドリングの体制強化**に向け、人材確保・育成の取組を推進するとともに、空港グランドハンドリングのDX化を進める。
- **自動手荷物預機やスマートレーン等の自動化機器の導入**により旅客の待ち時間を短縮。



自動手荷物預機



スマートレーン・X線検査機器



搭乗橋装着の自動化

(参考) 成田空港の更なる機能強化

- 平成30年3月の地元合意に基づき、令和10年度末目途の供用を目指して**成田空港の滑走路の新增設**を推進。

<事業の概要>

- ・ B滑走路の延伸 (2500m→3500m)
 - ・ C滑走路の新設(3500m)
- ⇒年間発着容量**50万回**を実現 (発着枠は現在30万回)

- 本年7月に成田空港会社が『新しい成田空港』構想をとりまとめ、旅客ターミナルを再構築し、集約型のワンターミナルとする方向性を提示。これにより世界一の国際ゲートウェイ空港を目指す。

「新しい成田空港」構想検討会によるイメージ
(新旅客ターミナルと新貨物地区の配置)



「新しい成田空港」構想検討会によるイメージ
(新旅客ターミナル内部)



※今後の検討により変更が生じる場合があります。

出典：『新しい成田空港』構想とりまとめ (成田空港会社)

○ 高付加価値旅行者*の地方誘客強化のため、**11モデル地域において、約190億円を支援**することで、高付加価値旅行者の誘客に向け、観光地づくり事業を加速化。 ※着地消費 100 万円以上/人の訪日外国人旅行者

➡ **令和5年度は、各種事業により宿泊施設やコンテンツ等の高付加価値化を総合的に支援するとともに、今後の取組指針(マスタープラン)を各地域で策定。**
令和6年度は、外部目線によるコンテンツ等の磨き上げ及び販路の形成により早期誘客の実現を目指す。

コアバリュー

高付加価値旅行者にも訴求できる魅力的なコンテンツの造成

宿泊

高付加価値旅行者のニーズに対応する宿泊施設の高付加価値化

人材

地方への送客・ガイド・ホスピタリティ人材の育成

移動

高付加価値旅行者のニーズを踏まえた移動のシームレス化

モデル観光地

1	東北海道
2	八幡平
3	那須及び周辺地域
4	松本・高山
5	北陸
6	伊勢志摩及び周辺地域
7	奈良南部・和歌山那智勝浦
8	せとうち
9	鳥取・島根
10	鹿児島・阿蘇・雲仙
11	沖縄・奄美

<継続検討>

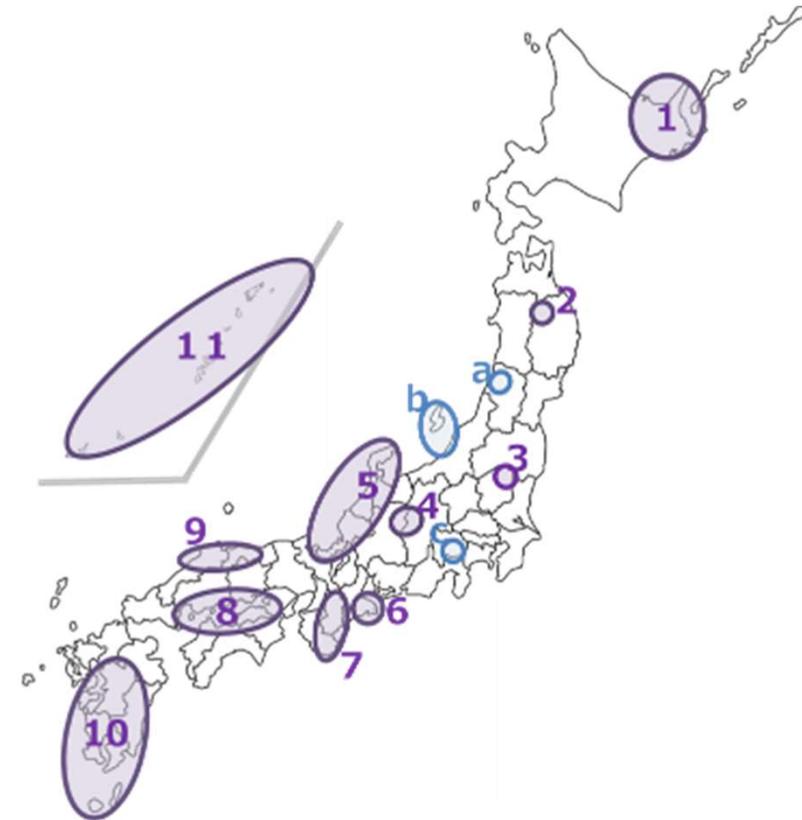
a.山形(鶴岡・西川・庄内)

b.佐渡

c.山梨富士山麓エリア

- ・ 旅程の造成・検証・磨き上げによるモデル地域の質向上の加速化
- ・ 継続検討地域のモデル観光地追加を検討

成果・ノウハウを他地域へも伝播



【エリアテーマ】**霊峰白山の恵み、北前船の交易、加賀百万石の歴史**により培われた豊かな文化
【令和6年度】**能登半島地震からの復興**に向けた特別な体験の提供や**北陸新幹線の延伸**も活かした**誘客エリアの拡大、長期滞在の実現**を支援

【小松市】地元料理と伝統工芸を コラボレーションしたガストロノミー



写真：鶴見絵里沙
@kanazawalife_is_wonder

・地元海山の幸を使った料理と**九谷焼**・**輪島塗**の伝統工芸を組み合わせたガストロノミーを造成
(2025年以降 販売開始予定)

【金沢市】兼六園での夜間特別体験



・兼六園を特別に夜間開放し、ガイドとともに特別な会席を提供
(2024年夏 販売開始予定)

【富山県西部】散居村の景観等の 保全に資する地域再生ツーリズム



・地域資源の観光利用によるサステナブルで豊かな地域づくり

【黒部市】 宿泊施設の高付加価値化



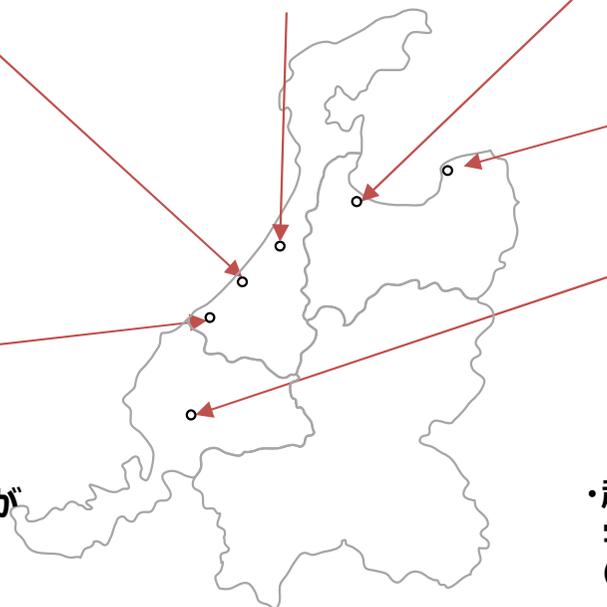
とっけん
(改修イメージ図) 黒部宇奈月温泉 桃源

・黒部川の眺望を望める貸切露天風呂の改修等による高付加価値化

【加賀市】ライドシェアの開始



・北陸新幹線開業に伴い、交通サービスが限られる時間帯に開始



【鯖江市】伝統工芸「金継ぎ」を 学ぶ特別体験



・越前漆器の伝統工芸士に弟子入りし、学ぶ特別ツアーを造成
(2024年夏 販売開始予定)

海外メディアの招請による プロモーション



いもの
鋳物製作体験

・ラグジュアリー層向けの雑誌を出版する英国メディアを招請したプロモーション

【エリアテーマ】**中部山岳国立公園の自然**や**街道・城下町**などに育まれた松本と高山の二都市における**歴史文化**

【令和6年度】**特別な体験の提供**に加え、招請や商談会への出展を通じた**販路の確立**や**販売のための取組**などを支援

高付加価値旅行者目線でのコンテンツの磨き上げ



・旅行会社を招請し、自然、伝統文化等の磨き上げを実施

【高山市】有形無形の歴史文化を感じる特別体験ツアー



・ユネスコ無形文化遺産「高山祭」をはじめ地域の文化を体験するツアーを造成
(2024年秋 販売開始予定)

【高山市】宿泊施設の高付加価値化



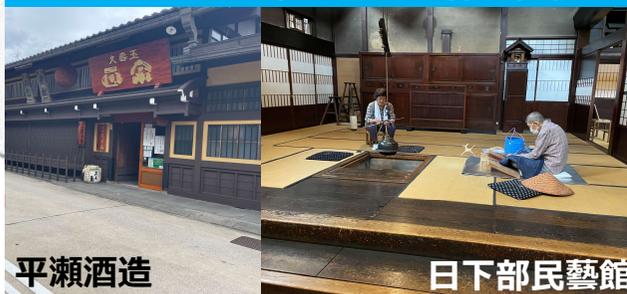
ひだホテルプラザ
(改修イメージ図)
・滞在の快適性を向上させるため、和洋室への改修による高付加価値化

【高山市】中部山岳国立公園内E-BIKEツアー



・奥飛騨温泉郷や国立公園の魅力
を周遊するE-BIKEツアーを造成
(2024年秋 販売開始予定)

【高山市】自然・食文化・伝統工芸の特別体験



・創業400年の造り酒屋や、重要文化財の一棟貸し宿を
活用した特別体験を造成
(2024年秋 販売開始予定)

【松本市】観光資源を活かす宿泊施設の高付加価値化



ごせんじゃく
五千尺ホテル上高地
(改修イメージ図)
・上高地の景観を楽しめる客室への改修等による高付加価値化

【エリアテーマ】世界に誇れる**島嶼部の自然景観美**、海と切り離せない歴史や暮らし、アートとの融合
【令和6年度】**特別な体験の提供**に加え、スーパーヨット・クルーズの受入を促進するとともに、**高付加価値旅行者の手配**
や宿泊施設開発のコンサルティング機能をせとうちDMOに整備するなど、**誘客エリアの拡大、長期滞在の実現**を支援

旅行会社との ネットワークづくり



・旅行会社とのネットワークイベント
や招請を通じた販路形成

【尾道市】 宿泊施設の高付加価値化



・個室を設け、よりプライベートな空間で
楽しむ食事処の改修等の高付加価値化

【福山市】福山城での城泊体験

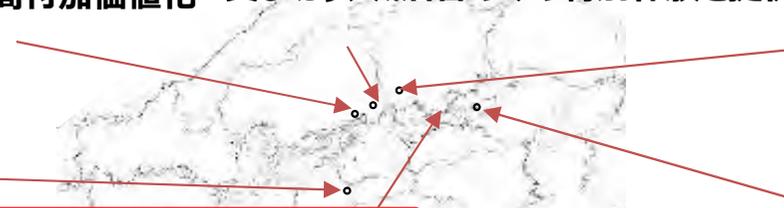


・国指定史跡である福山城公園全体を
貸し切り、城泊客のみの特別体験を提供

【井原市】地域の特産品を味わう ガストロノミーイベント



・バスク料理の有名シェフと地元シェフ、
一次産業事業者とともに企画する
「星空の下」のレストランを開催
(2025年以降販売開始予定)



いしづちさん

【西条市】石鎚山でのアドベンチャーツアー



・サイクリングと山岳信仰を組み合わせた
特別体験を造成 (2024年秋 販売開始予定)

瀬戸内の島々を巡るチャータークルーズ



・島々の個性、文化、
ガストロノミー、アート、
自然などのコンテンツ
を磨き上げ、東西に
広がる周遊ルートを開発
(2024年夏 販売開始予定)

とのしよ

【土庄町】日本の島暮らしを体験するサステナブルツアー



・無農薬の果樹栽培や海で紡がれる漁業など、日本の暮らしの
原点を知るツアーを造成 (2024年秋 販売開始予定)

しれとこ

【エリアテーマ】世界に認められた**知床等手つかずの大自然**～希少動物と人間の共生～

【令和6年度】特別な体験の提供に加え、国立公園内の自然体験等**アドベンチャーツーリズム**の取組などを支援

高付加価値旅行者目線での
コンテンツの磨き上げ



アトサヌプリ

しやり
【斜里町】宿泊施設の高付加価値化



KIKI知床ナチュラルリゾート

しやり
【斜里町】E-MTBで
名所を巡るサイクリングツアー



しやり
【斜里町】国立公園での
野生動物ウォッチングツアー



旅行会社を招請し、アトサヌプリ、
ルシャ湾等の体験価値の
磨き上げを実施（2024年7月 実施）

ラグジュアリー層向け客室への改修等に
よる高付加価値化

世界自然遺産知床の代表的な自然
をサイクリングでつなぐツアーを造成
（2024年夏 販売開始予定）

知床半島で海域と陸域両方の自然の
魅力を体験するツアーを造成
（2024年秋 販売開始予定）

てしかが
【弟子屈町】日本最大カルデラ湖の
ウォーターフロントで過ごす特別体験



くっしゃろこ

屈斜路湖でのナイトカヌー等、大自然を楽しむ
特別コンテンツを造成
（2024年夏 販売開始予定）

てしかが
【弟子屈町】タンチョウやシマフクロウ等の
希少動物と出会うガイドツアー



ネイチャーガイドが同乗する
バギー車で、阿寒摩周
国立公園内をめぐる
特別な体験ツアーを
造成
（2024年秋 販売開始予定）

くしろ
【釧路市】国立公園での
アウトドア・アクティビティ



認定ガイド同行でのみ入林が許される
不思議の森(光の森)でのプレミアム
ツアーを造成（2024年秋 販売開始予定）

【エリアテーマ】十和田八幡平国立公園の**自然と工芸**など北東北の**歴史と生活に根ざした文化**

【令和6年度】**宿泊施設の高付加価値化**に加え、国際競争力の高い**スノーリゾートの形成**の取組などを支援

高付加価値旅行者目線でのコンテンツの磨き上げ



・旅行会社を招請し、トレイルやサイクリング等のコンテンツの磨き上げを実施
(2024年10月 実施予定)

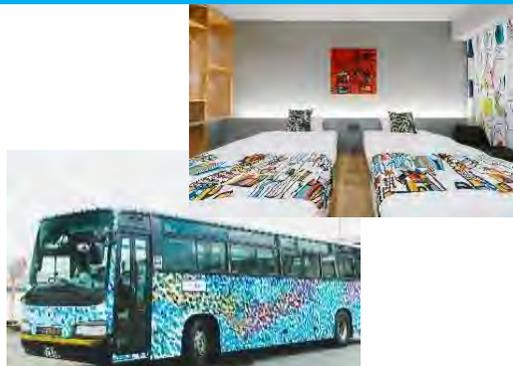
【八幡平市】国際競争力の高いスノーリゾートの形成



APPI JAZZY SPORT

・ナイトタイム利用の満足度向上のための設備を改修

【盛岡市】ユニバーサルツーリズムの先進区域としてのまちづくり事業



・ユニバーサルデザインのギャラリー等の拠点整備、地域文化とアート・音楽を掛け合わせた企画展やイベント開催
(2024年夏 販売開始予定)

【十和田市】奥入瀬渓流 ナイトミュージアム



・地元ガイドと野生動物の夜の生態を学ぶツアーを造成
(2024年秋 販売開始予定)

【八戸市】観光資源を活かす宿泊施設の高付加価値化

・「みちのく潮風トレイル」の玄関口として、食事ができるレストランが入った宿泊施設の整備等による高付加価値化



たからだい
旧 旅館宝台 (改修イメージ図)

みちのく潮風トレイルルートでの地方特別体験



・広域ロングトレイルコース（八戸市～相馬市）で伝統芸能、郷土料理、アクティビティ、震災遺構等を通じた地域住民とのふれあい

【エリアテーマ】日本有数の那須野が原扇状地と那須連山の自然や育んだ生活文化

【令和6年度】特別な体験の提供に加え、招請や商談会への出展を通じた販路の確立や販売のための取組などを支援

高付加価値旅行者目線での
コンテンツの磨き上げ



・旅行会社を招請し、サイクリング、伝統工芸の磨き上げを通じた商品造成

【那須塩原市】
宿泊施設の高付加価値化

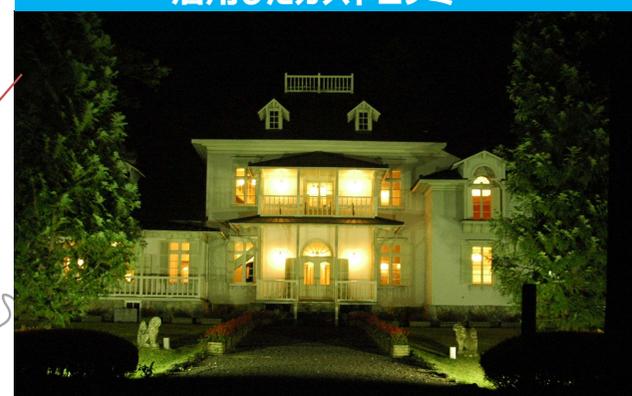


こううんそう
光雲荘

(改修イメージ図)

・温泉付き和洋室への改修による
高付加価値化

【那須塩原市】国指定重要文化財を
活用したガストロノミー



・日本遺産「旧青木家那須別邸」を特別開放し
地元食材を使った特別体験を実施
(2024年夏 販売開始予定)

高付加価値旅行者マーケットの
商談会への出展



・磨き上げたコンテンツをもとに
セールス活動を行い、海外旅行
会社との販路形成を図る

【日光市】奥日光の絶景スポットを
めぐるプレミアムサイクリングツアー



・ラムサール条約登録の保護区内
の美しい自然を巡るツアーを造成
(2024年秋 販売開始予定)

【那須町】
宿泊施設の高付加価値化



(改修イメージ図)

こころのおやど自在荘

・露天風呂付き客室への改修による
高付加価値化

ましこ
【益子町】日本遺産「かさましこ」で
益子焼の特別体験



・登り窯で、夜通し焼成体験するツアー
を造成 (2024年夏 販売開始予定)

【エリアテーマ】神道の聖地**伊勢神宮**を核とする**参拝文化**と**伊勢志摩国立公園**における**自然・食**
【令和6年度】特別な体験の提供に加え、滞在価値の明確化による**滞在時間の長期化**や**高付加価値旅行の手配を担う機能の創設**などを支援

海外旅行会社との商談会による
販路形成



・磨き上げたコンテンツをもとにセールス活動を行い、海外旅行会社との販路形成を図る

【伊勢市】
宿泊施設の高付加価値化



・露天風呂の改修等による高付加価値化

【鳥羽市】
宿泊施設の高付加価値化



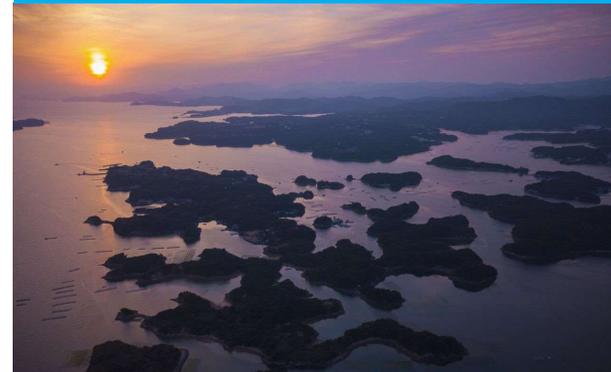
・長期滞在に適した客室の機能性の向上を図る改修等による高付加価値化

【伊勢市】伊勢神宮の本質を
学ぶ文化学習体験



・お伊勢さんに根付く地域文化や伝統をより深く学ぶコンテンツを造成
(2025年秋 販売開始予定)

【志摩市】国立公園における
船上の特別文化体験



・現役の海女さんと新鮮な魚介をいただく体験と真珠を取り出す体験等組み合わせた特別体験 (2024年秋 販売開始予定)

たき
【多気町】「食の神」伊勢神宮を中心としたガストロノミー
産直市場「マルシェ ヴィソン」



・伊勢神宮の食文化、歴史を感じられるガストロノミーを造成
(2025年 販売開始予定)

【奈良南部・和歌山那智勝浦エリアでの取組】

凡例：



実施中



実施予定



国土交通省

【エリアテーマ】紀伊山地の霊場を舞台とした**修験道**やその地に根づく**精神文化**

【令和6年度】特別な体験の提供に加え、高付加価値旅行を取扱う海外旅行会社の招請・商談会を通じた**販路の確立**や需要創出に伴う**宿泊施設の誘致**などを支援

高付加価値旅行者のニーズに対応する移動手段の検証



那智勝浦町

Aspire / Sarah Lucy Brown

・旅行会社を招請し、移動手段の検証、改善を実施

ちょういしみち
高野山への表参道「町石道」の参詣体験



・専門ガイドとともに世界遺産高野山の礼拝の道を体験するプログラムを造成
(2024年秋 販売開始予定)

【明日香村】考古学ツーリズム



・飛鳥時代の遺跡群を有する豊かな里山を活かしたツアーを造成
(2024年秋 販売開始予定)

【那智勝浦町】宿泊施設の高付加価値化



ホテル浦島

(改修イメージ)

・客室の拡大、和洋室への改修等による高付加価値化

【高野町】世界遺産高野山での修行文化体験



・高野山の宿坊寺院にて護摩祈祷体験を造成
(2024年夏 販売開始予定)

どろきょう
【十津川村】瀬峡の自然・文化・歴史を専門ガイドと体感



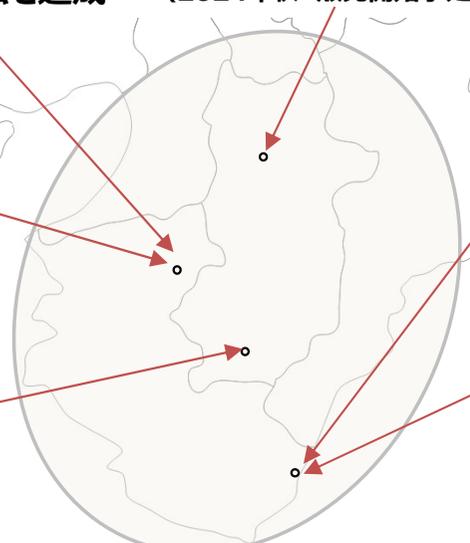
・山・川の自然・文化を守り伝えるガイドを通じた高付加価値な体験を提供

【那智勝浦町】熊野の食・文化体験



・世界遺産熊野那智大社・夜間特別正式参拝や熊野の恵みを堪能する特別体験を造成

(2024年秋 販売開始予定)



【エリアテーマ】古代出雲の精神性、^{たまはがね}玉鋼や陶芸等の伝統工芸、^{だいせん}大山や^{みとくさん}三徳山の山岳信仰

【令和6年度】宿泊施設の高付加価値化や海外旅行会社等の招請を通じた観光資源の磨き上げなどを支援

高付加価値旅行者のニーズに対応する移動手段の検証



鳥取空港及び米子空港で実施

(実施イメージ図)

- ・ビジネスジェットを活用したシームレスな移動の検証

高付加価値旅行者目線でのコンテンツの磨き上げ



大山ブナ森トレッキング

- ・旅行会社の招請を通じて、民芸や自然、伝統文化を生かした地域の魅力の磨き上げを実施

【安来市】宿泊施設の高付加価値化



さぎの湯荘

(改修イメージ図)

- ・和洋室への改修等による高付加価値化

【松江市】国宝松江城の夜間特別活用



- ・築城当時を再現し、伝統芸能、文化・食体験を集結した特別公演を開催
(2024年夏 販売開始予定)

【安来市・雲南市】^{やすぎ}伝統文化の現代の担い手を^{うんな}訪ねる特別体験



すかや さんない
菅谷たたら山内

- ・たたら製鉄の歴史を学び、現役の刀匠に弟子入りし伝統を受け継ぐ特別体験
(2024年秋 販売開始予定)

^{みささちよう}【三朝町】名勝及び史跡三徳山の重要文化財「地蔵堂」を特別開放



- ・山岳修験の体験と絶景を眺める茶道体験を造成
(2024年秋 販売開始予定)

【鹿児島・阿蘇・雲仙エリアでの取組】

凡例：  実施中

 実施予定

【エリアテーマ】阿蘇、雲仙、霧島・桜島等世界有数の火山と火山とともに培われた生活・文化

【令和6年度】特別な体験の提供に加え、外国人目線での滞在価値の明確化や宿泊施設の高付加価値化などを支援

高付加価値旅行者目線での
コンテンツの磨き上げ



阿蘇山



天幕レストラン

・旅行会社の招請を通じて、自然、ウェルネス等をテーマにコンテンツの磨き上げを実施

【南小国町】
宿泊施設の高付加価値化



やまびこ旅館
(改修イメージ図)

・客室の機能性を向上させる改修等による高付加価値化

【南阿蘇村】「あか牛」と「白川水源」が織りなすガストロノミー



(実施イメージ図)

・地元の素材と美しい自然が融合したプレミアムな食体験
(2024年秋 販売開始予定)

鹿児島の自然環境によって育まれたガストロノミー

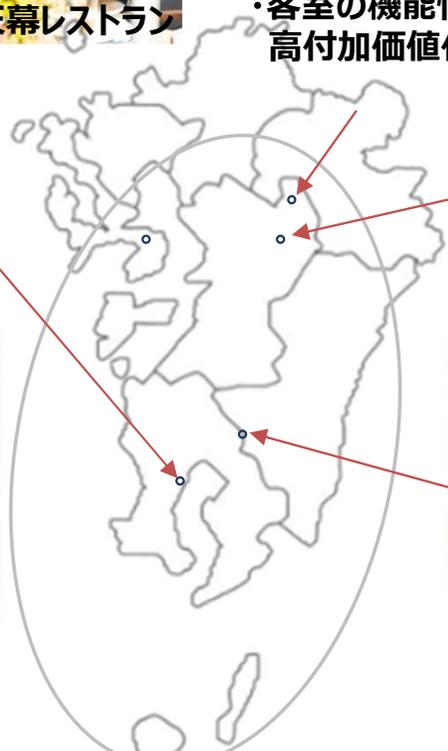


・鹿児島の活火山と黒潮を通じ発展した食文化や陶芸文化など鹿児島ならではのストーリーを味わう体験を造成
(2025年以降 販売開始予定)

霧島錦江湾国立公園における滞在体験の魅力向上
【環境省と連携】



・環境省国立公園満喫プロジェクトにおける、火山や歴史文化、食等を活かしたブランディング強化、ストーリー造成



【エリアテーマ】やんばるや奄美等の自然や琉球の歴史に育まれた固有の精神性 【令和6年度】特別な体験の提供に加え、世界遺産を活かしたアドベンチャーツーリズムや地域の食文化を活かしたガストロノミーの取組などを支援

高付加価値旅行者目線でのコンテンツの磨き上げ



なからがわ
沖縄 仲良川

奄美 八月踊り

・旅行会社の招請を通じて、自然、文化、伝統等を活用したアドベンチャーツーリズムの磨き上げを実施

世界遺産やんばるの森のプレミアムツアー



・スルーガイドとともに、やんばるの魅力を一貫して体感するツアーを造成
(2024年秋 販売開始予定)



いりおもて 【石垣市】西表石垣国立公園 アドベンチャーツアー



・公園内の未開拓地で化石燃料未使用アドベンチャーツアー等を造成 (2024年秋 販売開始予定)

みやこ下地島空港 ビジネスジェットターミナル



・令和6年4月21日開業
発着回数 (国内10回、国際2回)
※5月末時点

【久米島町】 宿泊施設の高付加価値化



リゾートホテル久米アイランド (改修イメージ図)

・地域の自然と調和した内装の改修や、パブリックスペースの改修等による高付加価値化

おおきみそん うんがみさい 【大宜味村】伝統祭事「海神祭」



・地域住民と交流し、伝統文化の伝承と安全に繋げる体験を造成
(2024年秋 販売開始予定)

令和6年5月休日及びゴールデンウィークの一般道路の交通状況

- 5月の休日が平日より混雑している区間は、全国で約2万区間
- 特に、**GW期間中の混雑が平日より顕著な区間**（※）は、**全国で約2,000区間**
 ※平均所要時間が平日より1.5倍以上となる日が発生した区間
- 今後、休日及び大型連休を含め、**より詳細に分析し、ソフト・ハードを含めた渋滞対策を検討**

混雑が顕著な区間

- ETC2.0プローブデータを用いて、令和6年5月の平日と休日（※1）の平均所要時間を比較・分析

休日が平日より混雑している区間（※2）：約2万区間

上記約2万区間に含まれる交差点数：約1.5万箇所

特に混雑が顕著なGWに着目して分析

- ETC2.0プローブデータを用いて、令和6年GW期間中と平日（※3）の平均所要時間を比較・分析

GW期間が平日より1.5倍以上時間がかかる区間（※2）：**約2,000区間**

上記約2,000区間に含まれる交差点数：約1,700箇所

GWと平常時の所要時間について地域分析（※4）

特に混雑が見られたエリア：80エリア
 （例：富士五湖周辺、箱根周辺等）

※1：平日：令和6年5月平日、休日：令和6年5月休日

※2：対象区間は、一般国道、主要地方道、一般都道府県道、指定市の市道の一部のうち、高規格幹線道路及び高速会社管理道路を除いた道路の189,463区間のうち欠測が多い区間を除く

※3：GW期間中：令和6年4月27日～5月6日、平日：令和6年4月24日・25日

※4：全国12,898地域（5km×5kmメッシュ）において 平常時（令和3年10月平日）との平均速度を比較

各地域の交通状況（見える化マップ）

- 令和6年GW期間中の交通状況を見える化マップで公開

<表示例：富士五湖周辺、箱根周辺、熱海・伊豆周辺、江の島・鎌倉周辺>



混雑区間

平日より1.5倍以上時間がかかる混雑区間
 うちGW期間中に3日以上混雑

混雑地域（※4）

1割増加地域
 3割増加地域

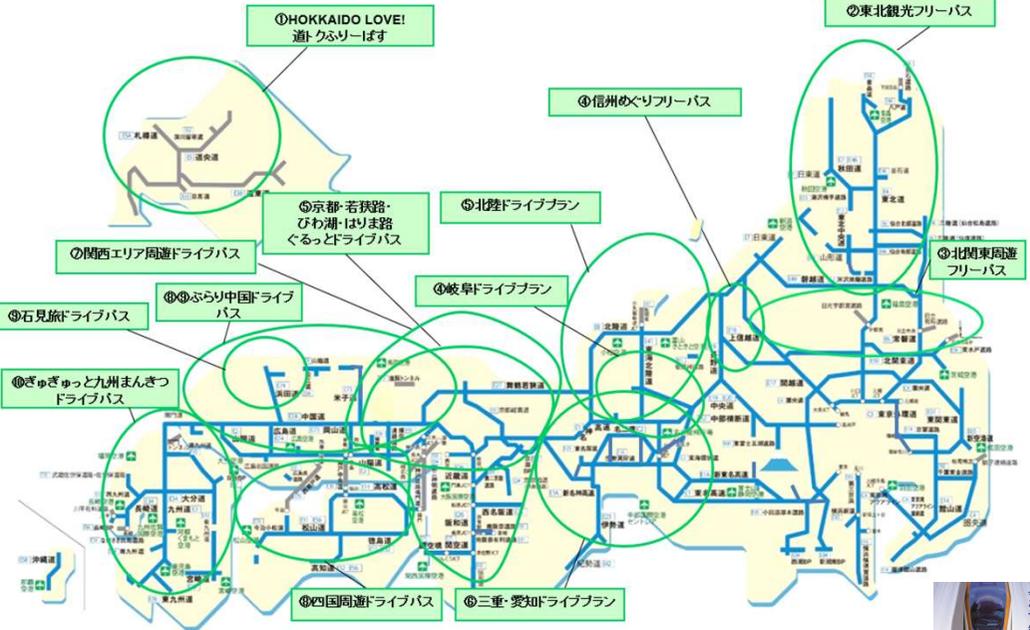
観光需要の平準化に向けた料金割引の見直し(休日割引・周遊パス)

- **更なる観光需要の平準化に向けて、自治体等との連携を強化し、モデル観光地を含むエリアの周遊パスの企画・販売を促進** (令和6年度は19コース追加)
- **休日割引適用除外の対象を、GW・お盆・年末年始に加え、令和6年度からはシルバーウィークを追加**
- **令和7年度以降、3連休等を適用除外日に追加する等、休日と平日のバランスの見直しを引き続き検討**

○ **オーバーツーリズムの未然防止・抑制に向けた対策パッケージ**
 (R5.10.18 観光立国推進閣僚会議)
 休日と平日のバランスの見直し等、観光需要の分散・平準化のための高速道路料金割引見直し

- ・ 高速道路会社が、地域の事業者や観光団体等とも連携し、平日の高速道路の周遊パスの割引率を拡充。
- ・ 高速道路の料金割引の適用条件や運用方法を見直し。

○ **モデル観光地に対応する周遊パス実施エリア**



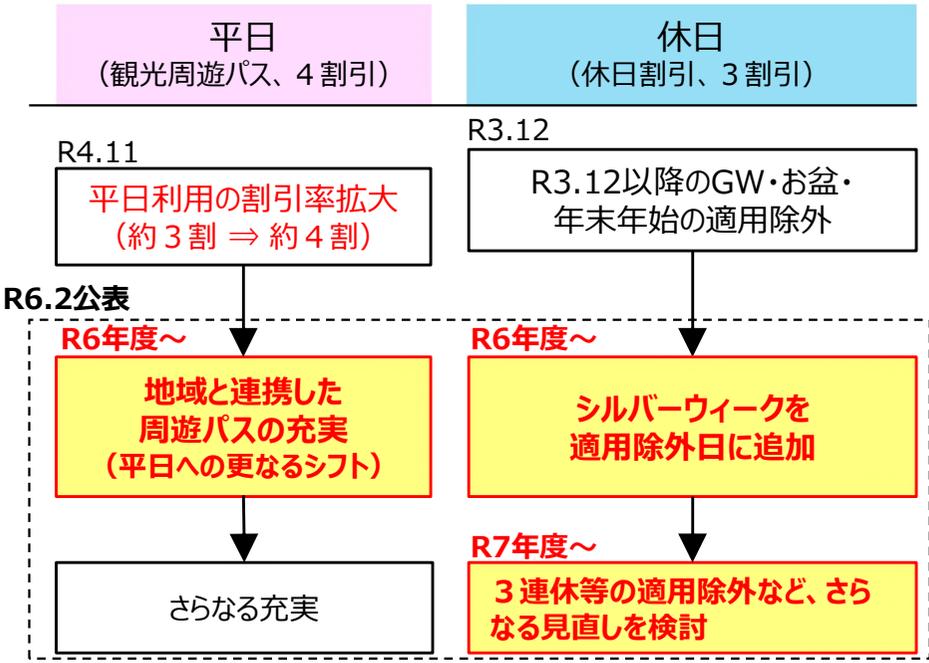
コース数 56 ⇨ 75
 (令和6年3月) (令和6年7月)

(例) 北陸新幹線 福井・敦賀開業を契機として、北陸ドライブプラン内に、「福井県内周遊コース」を追加



[出典：福井県HP]

○ **休日と平日のバランス見直しの方針**



○ **平日利用の促進策**

(例) 信州めぐりフリーパス (ETC車・普通車：2日間)

周遊パスの割引率拡大
 R4.11～約3割から約4割に拡充
 (※マイレージポイント付与により1割拡充)
 ⇒平日のみの利用が約2.2倍に増
 (約123,000件⇒約266,000件※)



※拡充前：H31.4.1～R2.3.31、拡充後：R5.4.1～R6.3.31

「デジタル×観光」の推進

観光分野において、**混雑状況のリアルタイムな可視化**や周遊ルートの提案等による旅行者の利便性向上、**宿泊予約や決済データの活用**による**消費の最大化**など**デジタル技術の活用**に取り組んでいる。

○混雑状況の可視化・誘導（箱根DMO）

<混雑状況の可視化>

バス・タクシー・道路・駐車場・飲食店等における**混雑状況をリアルタイムに可視化**、**移動手段の情報提供**を通じて、**旅行者の利便性向上**を図るもの。

移動手段の情報提供（箱根湯本駅）

箱根湯本駅6番のりば
箱根登山バス

09:36 桃源台線(小田原駅~桃源台)小田原駅 8分遅れ

バス運行状況

箱根湯本駅前タクシー乗り場

3人待ち

タクシー待ち人数

大平台・箱根湯本

渋滞

道路渋滞情報

観光施設等の混雑状況

大涌谷（普通車）
駐車場空き状況

混雑状況 2024年6月26日 11:10 時点の情報

待ち組数	予想待ち人数	待ち時間
1組	-人	-分

順番待ち予約(整理券取得)をする

飲食店混雑状況

<混雑状況を踏まえた誘導>

混雑状況を踏まえた周遊ルートの提案や消費喚起に向けたクーポンの発行等により、**観光地の需要分散・平準化**を図るもの。

【車】箱根十七湯をめぐるモデルルート

ルートの混雑予想 2024年6月26日 11:00 時点の情報

11時	12時	13時
混雑	混雑	混雑

【公共交通】箱根の周遊ルート

ルートの混雑予想 2024年6月26日 11:00 時点の情報

11時	12時	13時
空いている	空いている	空いている

混雑状況を踏まえた快適な周遊ルートへの誘導

200円OFFクーポン

入館料(大人・学生・小中学生)200円OFF

電子クーポンの活用

○地域消費の最大化（福井県観光連盟）

<宿泊予約データの活用（あわら温泉）>

地域の宿泊施設の予約データを収集し、**オープンデータとして公開**することで、**人員手配等の最適化が促進**され、**消費の最大化**を図るもの。



<決済データの活用（福井県内）>

旅行支援等で活用されたクーポンの**決済金額・場所等**を**オープンデータとして公開**することで、**旅行者の消費動向が可視化**され、**商工会議所等と連携した消費の多いエリアへの出店誘致活動に繋げる**等、**消費の最大化**を図るもの。



エリア内における飲食（左）および小売り（右）の決済金額を円の大ききで表示した散布図（万円）

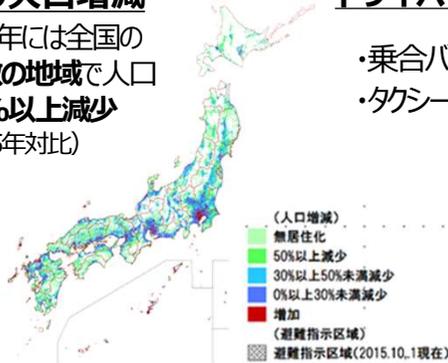
「交通空白」を解消するための取組について

- 訪日外国人の二次交通の確保やオーバーツーリズム対策に資する観点から、**国土交通省「交通空白」解消本部（本部長：国土交通大臣）を設置（令和6年7月17日）**し、当該本部のもと、デジタルを活用して、自治体・交通事業者とともに、「**地域の足対策**」「**観光の足対策**」「**日本版ライドシェア等のバージョンアップと全国普及**」による「交通空白」の解消に向けた取組を進める。

地域公共交通の状況

将来の人口増減

・2050年には全国の約半数の地域で人口が50%以上減少（2015年対比）



ドライバー数（2019年度→2021年度）

- ・乗合バス：約12%減少
- ・タクシー：約15%減少

居住地域に対する不安(地域別)

- ・公共交通が減り自動車が運転できないと生活できない：約40%
- ・徒歩圏内のコンビニ、スーパー、病院などの施設が少ない：約30%



『経済財政運営と改革の基本方針2024』（骨太方針）

第2章 社会課題への対応を通じた持続的な経済成長の実現～賃上げの定着と戦略的な投資による所得と生産性の向上
5. 地方創生及び地域における社会課題への対応
(2) デジタル行財政改革

デジタルを活用して、全国の移動の不足の解消への道筋をつけるという観点から、**規制改革推進会議における議論を踏まえ、安全を前提に、いわゆるライドシェアを全国で広く利用可能とする。**（略）

国土交通省「交通空白」解消本部

取組内容

① 「地域の足対策」と「観光の足対策」

○ 地域の足対策

全国の自治体において、**タクシー、乗合タクシー、日本版ライドシェア、公共ライドシェア等**（以下、タクシー等という）を**地域住民**が利用できる状態を目指す。

○ 観光の足対策

主要交通結節点（主要駅、空港等）において、**タクシー等**を**来訪者**が利用できる状態を目指す。

② 「日本版ライドシェア」や「公共ライドシェア」のバージョンアップと全国普及

天候・大規模イベント等への対応、台数制限の緩和、新たなダイナミックプライシングなどの運賃料金の多様化、タクシー以外の運送事業者（バス、鉄道等）の参入促進などについて検討し、結論を得る。

スケジュール

- 本年9月 ①について、特に先行的に解決する必要性が高い自治体や交通結節点において、「交通空白」解消の方策が実施／準備されていることを目指す
②について、**バージョンアップ 第1弾のとりまとめ**（天候・大規模イベント等への対応等）
- 本年12月 ①について、**すべての自治体・交通結節点**において、「交通空白」解消の方策が実施／準備されていることを目指す
②について、**バージョンアップ 第2弾のとりまとめ**（新たなダイナミックプライシングなどの運賃料金の多様化等）

オーバーツーリズムの未然防止・抑制

オーバーツーリズム対策「先駆モデル地域」採択一覧

- 過度な混雑やマナー違反等の課題に取り組む「先駆モデル地域」として、第1次：20地域（本年3月公表）、**第2次：6地域**（7月19日公表）の**計26地域**を採択。
- **地域の関係者による協議の場**において**具体的な対策に係る計画を策定し、取組を実施**。

【採択地域及び主な取組構想】※順不同、**赤枠・字**は第2次公募で採択された地域

公共交通等の混雑対策

- ① **京都**：「観光特急バス」の新設、地下鉄等への誘導、手ぶら観光の拡充
- ② **ニセコエリア**：タクシー不足対策「ニセコモデル」の拡大
- ③ **蔵王**：ロープウェイの変動価格導入、混雑状況可視化
- ④ **川越**：パーク&ライドの強化、駐車場等の混雑情報発信
- ⑤ **箱根**：「箱根観光デジタルマップ」を活用した分散・平準化
- ⑥ **出雲大社**：駐車場料金変動制の導入

- ⑦ **小豆島**：島内公共交通の充実、混雑情報のリアルタイム発信
- ⑧ **银山温泉**：パーク&ライド実施及びシャトルバス運行による渋滞抑制

マナー違反对策

- ⑨ **美瑛**：AIカメラを活用した、農地など私有地への無断立入行為の抑制
- ⑩ **鎌倉・藤沢**：カメラ設置による写真撮影時のマナー違反行為の抑制
- ⑪ **白川郷**：発地国・地域の分析に基づく旅マエを含むマナー啓発の強化
- ⑫ **奈良公園・山の辺の道**：景観保護活動への観光客の参画

- ⑬ **高山**：伝統的景観を守るためのマナー啓発、災害時の円滑な情報伝達

自然環境保護

- ⑭ **西表島**：エコツーリズム推進法に基づく立入制限の導入
- ⑮ **奥入瀬**：車両乗入規制の実施、利用者負担導入の検討
- ⑯ **富士山吉田口**：登山者数の条件設定及び通行料の導入
- ⑰ **富士山富士宮口、御殿場口、須走口**：登山計画等を事前登録する入山管理システムの導入
- ⑱ **阿蘇**：EV・自転車活用による環境負荷の低減



需要の分散・周遊促進等

- ⑲ **宮島・宮島口**：宮島側ターミナルの改良、混雑状況可視化
- ⑳ **浅草**：浅草寺周辺の混雑対策、道路空間の活用
- ㉑ **佐渡**：島内二次交通の強化、周遊の促進
- ㉒ **高野山**：データを活用した参拝観光客の分散・平準化
- ㉓ **仁淀川流域**：新たな観光スポットの受入環境整備、周遊コンテンツの充実
- ㉔ **秩父**：AIカメラを活用した混雑予測情報のリアルタイム発信
- ㉕ **大月**：富士山周辺エリアにおける新たな周遊コンテンツの造成
- ㉖ **那覇**：首里城周辺における駐車場混雑情報発信や公共交通の利用促進

先駆モデル地域における取組: 富士山

課題

- 将棋倒しの危険や登山者の満足度の低下をもたらす**登山道の過度な混雑**
- 一気に山頂を目指す**弾丸登山**や**軽装登山**、**登山道以外への立入り**等の**マナー違反**

主な取組

自然環境保護

- **新たな入山管理制度の導入等**
 - 【山梨県側（吉田口登山道）】**
 - ・**通行ゲート**を設置し、**登山者数の上限を4,000人/日**とする**新たな通行規制**を本年の開山日（7月1日）より導入
 - ・安全対策等の費用として、新たに**通行料2,000円**の徴収を開始※
※このほかに、任意協力金1,000円
 - 【静岡県側（富士宮口・御殿場口・須走口登山道）】**
 - ・登山計画や山小屋宿泊予約の有無を**事前登録**するシステムを導入（本年6月～）
 - ・**ルール・マナーの事前学習**を必須化

* 静岡県側に関しては、国有地であることなど国の関与が対策の支障にならないよう、速やかに対応



通行規制の実施（山梨県）



マナー違反対策

- **訪日外国人旅行者への周知の強化**
 - ・「**富士登山オフィシャルサイト**」において、弾丸登山や軽装登山の危険性を訪日客向けに4言語で発信
 - ・上記内容について、**日本政府観光局（JNTO）のグローバルサイト**でも発信
- **マナー啓発**
 - ・吉田口登山道に**巡回指導員**を配置（本年7月～）
 - ・富士宮口登山道等の8合目～山頂付近に**安全誘導員**を配置（本年7月～）



富士登山のルール・マナーの事前学習（静岡県） JNTOグローバルサイトにおける発信 29



先駆モデル地域における取組：京都

課題

- バスターミナルや主要観光地へ向かうバス車内の混雑、大型手荷物の持ち込みによる円滑な運行への支障
- 無断撮影や、ごみのポイ捨て等のマナー違反
- 特定の時期・時間・場所に観光客が集中することによる混雑

主な取組

公共交通等の混雑対策

- 制度改正を踏まえた全国初の「観光特急バス」の運行 [6月開始]
 - ・京都駅～清水寺方面等を直結（土日祝に48回/日運行）
 - ・運賃は通常※の約2倍の500円 ※均一区間：230円
- 輸送力の大きい地下鉄への乗り換え促進
 - ・京都駅へ向かう市バスから地下鉄への無料乗り換えサービスを、大型連休期間中、約5,000人が利用
 - ・京都駅・東京駅デジタルサイネージや、関西の在来線車内ビジョン等での情報発信
- 手ぶら観光促進
 - ・桜シーズンの5日間に開設した事前予約可能な臨時手荷物預かり所において、約1,000個の預かり実績



「観光特急バス」の運行



地下鉄利用促進に向けた情報発信

マナー違反対策

- マナー啓発・周知の強化
 - ・祇園地区など、市内中心部にマナー啓発のための看板・デジタルサイネージを設置
 - ・祇園、嵐山など市内4か所にICTを活用したごみ箱を設置※ ※2023年春から順次設置
- 需要の分散・平準化
 - ・主要観光スポットの混雑状況・予測をリアルタイムで確認できる京都観光快適度マップをKANSAI MaaSアプリ上に掲載
 - ・早朝・夜間における寺社の特別拝観や、大原等の比較的混雑の少ないエリアにおける観光コンテンツの造成

需要の分散・周遊促進等



マナー啓発看板の設置



KANSAI MaaSと京都観光快適度マップの連携



先駆モデル地域における取組：美瑛

課題

- 写真撮影のために私有地への立入りが発生
- 観光客の集中による交通渋滞が発生、生活道路や農道への違法駐車により、生活交通に支障

主な取組

マナー違反対策

- マナー啓発・周知の強化
 - ・観光客のゲートウェイとなるJR美瑛駅や道の駅びえい「丘のくら」、観光案内所「四季の情報館」等にデジタルサイネージを新設
 - ・観光周遊バス車内や観光案内所で、マナー啓発動画を放映
- マナー違反行為の監視・抑制
 - ・AIカメラを活用した農地への無断立入りの監視を開始、立入りを検知した際には、自動音声による注意を多言語で実施 [昨年12月～本年6月の実証期間で、約500件の立入りを検知]
 - ・観光協会職員等による町内観光スポットの巡回、観光客への注意や案内の実施

需要の分散・周遊促進等

- 需要の適切な管理
 - ・町内中心部にパーク&ライド駐車場を新設し、観光周遊バス・レンタサイクルの利用を促進
 - ・新しい移動手段として、電動キックボードのシェアリングサービスを新規導入
 - ・渋滞抑制のため、主要観光スポット周辺に警備員を配置し、交通整理を実施（8月の農繁期及び12～2月の冬期に実施予定）
- 需要の分散・平準化
 - ・白金青い池などの主要観光スポットの混雑状況をデジタルサイネージやウェブサイトでリアルタイム発信



マナー啓発のためのデジタルサイネージ設置



農地（私有地）等への立入りを監視



パーク&ライド駐車場の整備



主要観光スポットの混雑状況の可視化